



### サイエンス 特別講義

3月5日(水)、総合自然科学コース1・2年生全員と希望生徒を対象としたサイエンスⅡ(インテグラル)特別講義を実施しました。

講師に、鳥取大学 工学部 知能情報工学科 教授の田中美栄子先生をお招きし、「情報科学入門」という題目で講義をしていただきました。

田中先生は情報工学がご専門で、特にコンピュータを用いて社会工学・金融工学などについて研究しておられます。

講義では、先生の自己紹介や大学教員という仕事についてお話し

ただき、また大学で学ぶ専門分野についてデモ講義していただきました。

また、英語が苦手でもアメリカへ留学し、どんどん新しい仕事にチャレンジされたというお話は、これからさらに学び、社会に出ていく生徒達にとって大変役立つものとなりました。

高校生の間は基礎を押さえ、分からなくなったら以前の学習に戻ること、基礎を押さえてから専門分野を学ぶことの2点も強調されました。

講義の後、田中先生を囲んで「サイエンスカフェ」が開かれました。生徒達から出た質問に、田中先生は丁寧に

答えてくださいました。

生徒にとって「情報工学」について学ぶ、良い機会になりました。



#### 〈生徒感想1〉

自分の興味のある分野で活躍されている先生の講義はとても刺激的で、これからの進路や学習への取り組み方の参考になりました。

また先生の未知の分野に積極的に取り組んでおられる姿に関心し、常に新たなことに挑戦する向上心の大切さを改めて感じました。それに、先生の人を引きつける話術にも驚き、自分もあのようになりたいと思いました。

#### 〈生徒感想2〉

情報科学、人工知能と聞いて、難しく複雑なイメージがありましたが発見者や発見していく上での面白いエピソードを交えながら、講義をして下さったので、楽しく聴くことができました。

人工知能は、人間が普段考えて行うことを機械にさせることで、人間を助けてくれることがあると知り、すごい技術だなと思いました。

### 1年間を終えて

SSH 事業の初年度が終わろうとしています。1年を振り返ってみると、書類と行事に追われ、何かと忙しい1年間でした。年間を通して、どのような行事があるのか。またJSTや県などの上部の組織からの依頼事項など、初めてのことばかりでその都度対応した事が多かったように思います。

校内行事も盛りだくさんで、核融合科学研究所准教授の井戸先生の「究極のエネルギーを目指して」やJT 生命誌研究館館長の中村先生の「自然・生命・人間について考える」

の講演会や、施設・研究所(グローリーやヒガシマル醤油、兵庫県立大学西はりま天文台など)の見学・研修。また、1年生の東京研修、2年生の台湾武陵高級中学への海外研修、自然科学部の横浜でのSSH 生徒研究発表会など、校外での生徒研修。さらに、2年生の1年間を通しての課題研究(「新舞子干潟に生息する生物及び環境の調査」、「たたら製鉄」、「山崎断層と化石」、「醤油とアミノ酸」、「醤油における酵素の働きとコウジカビの研究」、「天体観測」、「行列という数学」)や、各種コンテスト(「生物オリンピック」、「化学グラン

#### SSH 運営推進委員長 井上 孔一

リ」、「数学・理科甲子園」等)への参加など、生徒たちも大変忙しかったように思います。さらに、職員も各研究会や発表会への研修参加など、忙しかったように思います。そして、3回のSSH 運営指導委員会や2月の校内SSH 生徒研究発表会など、盛りだくさんのSSH 行事を無事終えてきました。

来年度は、さらに充実したSSH 事業を計画し、沢山の生徒諸君に自主的、積極的に参加していただきたいと思います。